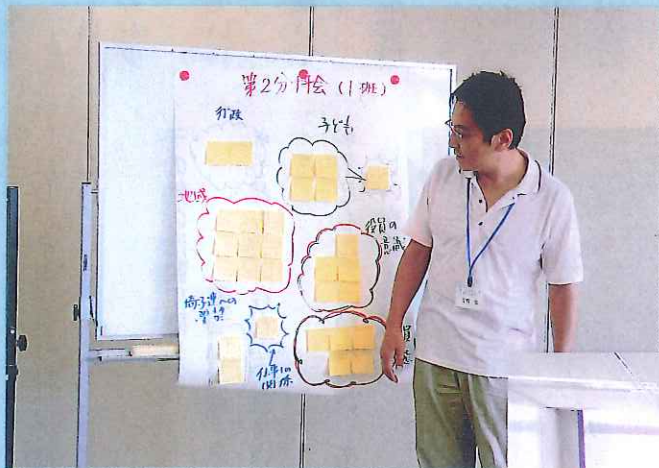




# 第 115 号

埼玉県子ども会育成連絡協議会  
 発行責任者 大 鹿 良 夫  
 編 集 広 報 委 員 会  
 事 務 局 さいたま市浦和区北浦和5-6-5  
 埼玉県浦和合同庁舎別館内  
 TEL(048)822-8621

## ジュニア・リーダー 上級資格認定研修会



## 第5回 育成者研修会



### 目次

- ・平成25年度  
 上級資格認定研修会……………2
- ・平成25年度  
 埼玉県子ども会育成連絡協  
 議会 ジュニア・リーダー  
 上級資格認定研修会……………3
- ・笑顔がいっぱい……………4
- ・育成者研修を終えて……………6
- ・事務局だより／編集後記……………6

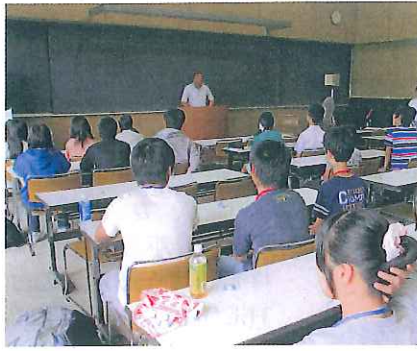
# 平成25年度

ジュニア・リーダー

## 上級資格 認定研修会

全日程、5泊8日の研修会が終了した。今年度は受講者(23名)が少なく、修了者は22名であった。最終日は中川朝夫講師からの「子ども会の組織と運営」が最終講義となった。

大鹿会長・副会長・研修指導部の方々の下、終了授与式が行われ、会長から一人ひとりに授与され「地域でそれぞれ活躍して欲しい」と修了者に期待を込められました。



### 修了者

- 川口市(4名) 川越市(3名)
  - 鶴ヶ島市(3名) 春日部市(2名)
  - 八潮市(2名) 幸手市(2名)
  - 白岡市(2名) 上尾市(1名)
  - 桶川市(1名) 熊谷市(1名)
  - 行田市(1名) 久喜市(栗橋1名)
- 以上22名の方です



### 受講者「3つの」課題

#### 地元子ども会の活動は

- \*親が役員をやりたいくない。子どもが減少。
- \*久喜と合併してから子ども会のあり方が難しくなった。子ども会の組織をいやがる。
- \*自分でやろうとしない。
- \*大人が役員をやりたいくなく消極的だ。

\*子ども会がなくなっている。

\*JLと市・保護者との関係が崩れている。

\*大人が少ないのが寂しい。  
\*JLが増えても子どもが少くない。

\*レクの後、何をやっていいのかわからない。

\*子ども会活動を受け継いで行って欲しい。

\*5・6年生の子どもが参加しない。

#### 今後の子ども会活動は

##### どうあるべきか

\*子ども会活動を地域の人に理解してもらう。

\*友だちができる大切さを親も理解して欲しい。

\*子ども会の組織がどのようなものなのか親や地域の人に知ってもらい、楽しさを伝えること。

\*子どもが参加できる地域に根ざした活動が大切だ。

\*保護者への説明と協力が必須だ。

\*地域との交流。

\*親の認識が必要。

\*子ども会活動に飽きてしま

っている。

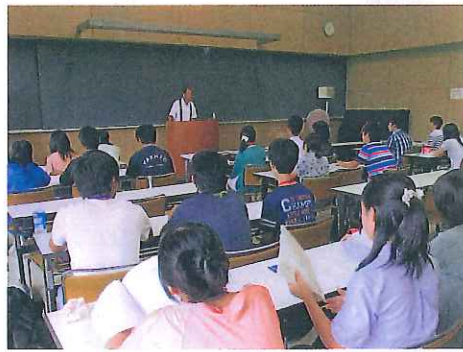
\*子ども会の存在意義を明確にし、それを受け継いで欲しい。

#### その他の活動に関して、

##### 気づいた点

\*子ども会の存在が薄れている。

\*子どもたちの触れ合い、楽しい交流が大切だ。



### 感想

受講者の思いを知り、自ら工夫し、仲間と助け合い知恵を出し合い作り上げることが出来ないか。誰かがやってくれる。「単に行けばいい」という他力本願ではなく、自分たちで何かやろうと言う意識で、作り上げる楽しさを学んで欲しい。

子ども会活動はみんなで作り、楽しむことが大切、それは保護者も地域の方も一緒に何かをやることよって、繋がりと触れ合いを築き上げることが出来ると思う。

今こそ、子ども会のあるべき姿をみんなで考える時期が来ているのではないだろうか。



平成25年度埜玉県子ども会育成連絡協議会 ジュニア・リーダー・上級資格認定研修会「日程・会場・履修科目」

| 期間      | 日時       | 場所       | 6:00 | 7:00 | 8:00          | 9:00           | 10:00 | 11:00                 | 12:00 | 13:00 | 14:00                   | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00           | 21:00 | 22:00 |
|---------|----------|----------|------|------|---------------|----------------|-------|-----------------------|-------|-------|-------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|-------|
| 第 I 期   | 6月15日(土) | 長瀬げんきプラザ | 起床   | 朝の集い | 朝食            | 部屋点検           | 9:00  | 子ども会と安全 AED と救急法の実技指導 | 昼食    | 13:00 | ジュニア・リーダーの役割と心得 講師 久保朝一 | 14:00 | 退所式   | 16:00 | 受付    | 夕食    | 子ども会の意義 講師 久保朝一 | 入浴    | 就寝準備  |
|         | 6月16日(日) |          | 起床   | 朝の集い | 朝食            | 秩父消防習救急隊員      | 12:00 | 昼食                    | 13:00 | 退所式   | 14:00                   | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00           | 22:00 |       |
|         | 7月28日(日) |          | 起床   | 朝の集い | 野外炊飯と朝食 指導研修部 | 10:00          | 創作活動  | 12:00                 | 昼食    | 13:00 | 退所式                     | 14:00 | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00           | 21:00 | 22:00 |
| 第 II 期  | 7月29日(月) | 小川げんきプラザ | 起床   | 朝の集い | 朝食            | 軽スポーツ活動        | 10:00 | 集合受付                  | 12:00 | 昼食    | 13:00                   | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00           | 22:00 |       |
|         | 7月30日(火) |          | 起床   | 朝の集い | 朝食            | シニア・リーダー 指導研修部 | 10:00 | 12:00                 | 昼食    | 13:00 | 退所式                     | 14:00 | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00           | 21:00 | 22:00 |
|         | 8月20日(火) |          | 起床   | 朝の集い | 朝食            | シニア・リーダー 指導研修部 | 10:00 | 12:00                 | 昼食    | 13:00 | 退所式                     | 14:00 | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00           | 21:00 | 22:00 |
| 第 III 期 | 8月21日(水) | 加須げんきプラザ | 起床   | 朝の集い | 朝食            | 清掃             | 10:00 | 12:00                 | 昼食    | 13:00 | 退所式                     | 14:00 | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00           | 21:00 | 22:00 |
|         | 8月22日(木) |          | 起床   | 朝の集い | 朝食            | 清掃             | 10:00 | 12:00                 | 昼食    | 13:00 | 退所式                     | 14:00 | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00           | 21:00 | 22:00 |
|         | 8月23日(金) |          | 起床   | 朝の集い | 朝食            | 清掃             | 10:00 | 12:00                 | 昼食    | 13:00 | 退所式                     | 14:00 | 退所式   | 16:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00           | 21:00 | 22:00 |

### リーダー研修会

坂戸市子ども会

「お父さん、お母さん行って来ます」のリーダー研修会参加者の挨拶で始まり、今年の研修会がスタートしました。五月の現地下見で始まり、受け入れ先の長野県青木村との詳細な打合せを持ち、七月の事前研修会、八月の本番に入りました。今年は募集人数を大幅に上回り、予算面、受入れ先施設、研修内容など多々苦慮しましたが、天気にも恵まれ、活気ある充実した研修会を開催することが出来ました。

この研修会では、坂戸市教育委員会との共催で行っております。例えば研修会の各種行事では、坂戸市ジュニア・リーダー、坂戸市レクリエーターズクラブの協力を得て実施しています。特に社会教育課主催で「ジュニア・リーダー養成講座」を開催し、各中学校への講座開設案内から、募集、一年間の教育を実施して



十観山頂上で美味しいお弁当を頂いています

頂いており、子ども会育成会もこの教育に協力し合っています。

ここで養成したジュニア・リーダーが最大限に活躍できる場所がこのリーダー研修会です。特に今年は「リーダー研修会事前研修」で、レクを含めて綿密な打合せを持つことが出来、リーダー研修会参加者の小学四～六年生は、「すごく楽しかった、来年もまた行きたい、六年生なので来年はジュニア・リーダーになってまた参加したい」の声を聞かせてきました。

この声、更に充実した研修会が出来る様に、行政と一致協力して推進していきます。

### 研修と社会体験を目指す

熊谷市ジュニア・リーダーズクラブ

熊谷市のジュニア・リーダーズクラブの活動は、十年前に始まりました。きっかけは、熊谷市が県のかかるた大会の会場に選ばれたことでした。それまではジュニア・リーダーはいませんでした。

県大会をきっかけに、熊子連かるた大会を今年度で11回を迎えることができました。

現在では、約300人のジュニア・リーダーで活動しています。

#### (一) 研修では

- ① レクリエーション講習会を二回
- ② かるた審判講習会を二回
- ③ 普通救命講習会を二回
- ④ キャンプ宿泊研修
- ⑤ 子ども会等の意義やR

#### (二) 社会体験活動では

- ① Y.T等の理論講義を実施
- ② 熊子連球技大会の進行
- ③ ふれあい運動会の進行
- ④ 遊びの祭典のお手伝い
- ⑤ 荒川の恵みの清掃活動
- ⑥ 非行防止街頭キャンペーンのピラ配り
- ⑦ 熊子連かるた大会の審判・記録等
- ⑧ 親睦では
- ⑨ 卒業・親睦旅行として三月にドイツニーリゾートを実施しています。
- ⑩ これ以外にも、各子連・各地区でのボランティア活動もしています。

特に、夏のキャンプ研修は長滞の元氣プラザに一泊二日します。研修のメインは、「ラフティング」です。ねらいは、荒川の渓流下りを、グループで協力し合うことの大切さを学ぶことです。



長滞でのラフティング

そのほかの研修では、創作活動で今年度は石アートに挑戦しました。飯盒炊飯での食事作り・ウォークラリー・自然史博物館での研修でした。昨年度は、ようばけでの化石発掘にも挑戦しました。

このキャンプ宿泊研修の重要な活動は、高校生が中心となつて、中学生の活動を補助することにより自らがリーダーとして力をつけていける価値ある研修です。

まだまだ、組織とすると未成熟ですが、価値ある研修・魅力ある社会体験活動を提示しジュニア・リーダーとして、誇りと自信を持って成長してくれること願っています。

助が  
ばい!

「KYT」って  
大切なんだね!

桶川市子ども会育成連絡協議会

7月6日、川田谷生涯学習センタースポーツホールで、桶子連恒例の『KYTとレクリエーション』が行われました。前半では、夏休みに「ラジオ体操会場へ向かう設定」のシートを使用して「KYT」を体験しました。

グループに分かれて危険な行動や場所を話し合い、その後代表者が発表しました。ちよつぱり恥ずかしがる代表者や元氣過ぎる代表者、班全員で発表した班もあり、それぞれが「なぜその行動や場所が危険か」を分かりやすく発表していました。

今回の経験を基に、今後の子供会活動にKYTを取り入れて欲しいです。

後半はプロジェクト・アドベンチャー(冒険教育)の中から5つゲームを行いました。プロジェクト・アドベンチャーとは、心理学や体験学習の手法を取り入れ、自主性や

協調性を養う野外活動中心としたものです。

今回は子供と一緒に室内ゲームで楽しい時間を過ごしました。

最初は4つのチームで「人間知恵の輪」です。3つのチームは解けましたが、1チームは時間切れでした。

次は丸めた新聞紙を片手人差し指で支え床まで下ろす「ヘリウムスティック」です。チーム全員が1本指で棒を下げるのですが、なぜか上へいつてしまう不思議な感じを味わいました。

次は床を人食い魚が泳いでる危険な川にみたて、段ボール3枚だけで渡る「マシユマ



後半プロジェクトアドベンチャー「ヘリウムスティック」の様子

笑

いっ

ロリバー」。続いて「頭が7つ、足が6本、腕が14本の怪物」という題が出され、子供達は小さな子をおんぶし片手で立つなど工夫、繋がってゴールを目指す「モンスター」。

最後は握手した時に1〜3回まで何回握るか決め、2人組みからだまって握手し同じ回数の仲間を増やす「心で握手」。どれも初めてでしたが、時間の立つのを忘れ楽しく盛り上がりました。

### 活躍するジュニア・リーダーズ・クラブ

行田市子ども会育成連絡協議会  
行田市教委ひとつくり支援課

「行田市ジュニア・リーダーズクラブ」は、地域の子どもたちのお兄さん・お姉さんとなり、子どもと大人の架け橋となる人材育成を目的に、各種の研修会を開催しています。

平成10年度からスタートし、現在は中学1年生から社会人まで88名が在籍しており、年間を通して活動しています。

研修会では、リーダーとしての基本的な知識・技能を学んだり、また日頃から自主的な活動ができるようにと、さまざまな実習や体験を通じた学習を行っています。特に、ジュニア・リーダーとして活動

を始める初年度には、講師を招いて「ジュニア・リーダーの役割と心構え」、「活動計画とプログラムの作成」、「応急手当の方法」など、これからの活動に必要不可欠なリーダーとしての基礎知識や心得などを学びます。

当クラブの活動の主なものとしては、社会教育施設での宿泊研修や、普通救命講習会、レクリエーション講習会、更には緑のボランティア活動と



緑のボランティア活動

して市内の森の手入れや清掃などを行っており、自然体験や技術の習得、ボランティア精神の向上に努めています。また、郷土かるたの実技講習会を行い、毎年開かれる小学生対象の「ぎょうだ郷土かるた大会」の読み手・審判員をジュニア・リーダーが担っています。このほかにも「行田こどもまつり」で子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えるブースを運営するなど、市のイベントにも積極的に協力しています。

今後も引き続き、地域で活躍できるリーダーを数多く育成し、地域の教育力の向上に貢献していきます。

# 育成者研修を終えて



今年度の活動方針である子ども会の活性化を見出すため第五回育成者研修会は7月13日埼玉県浦和地方庁舎会議室で開催されました。

川本順一埼玉連専門員から「育成者の心育む、笑顔輝く子ども会」子ども会の活性化を目指してと題し基調となる話の後、昨年の関ブロ育成研修会で実施されたバズセッションとK・J法を用いて子ども会育成会の問題点をさぐり

出すことを基本の考えとしてグループごと活発な意見交換がされました

## 指導者の問題点として

- ① 子ども会育成組織の弱体化
- ② 育成者の世代交代ができていない。
- ③ 世代間交流が行われなくなってきた。

## 子ども会活動として

- ① 子ども会の必要性を伝えられない。
- ② 子どもの要望にこたえられない
- ③ いろいろな世代との交流が減少している。

## 地域の問題点として

- ① 世代間交流が減っているために町会・学校・地域の共有財産を使いきれない。



全体として、地域あるいは個人の意識の確認が薄れてきている。子ども会に係わる人のつながりを強化し、さらにこれを広げ、これまでに培ってきた経験と知恵をもとに、人と人をつなぐ具体的な方法や、今の社会に必要とされる子ども会活動を探っていくことが必要です。

その上で、各地域の活動が子どもたちの自立と社会性を育む子ども会に向け踏み出すために活動続ける必要があります。

# 事務局だより

## (1)3月の主な行事

- 1月4日(土) 賀詞交歓会
- 1月25日(土) 安全共済会事務担当者説明会(会場 さいたま市)
- 2月2日(日) 安全共済会事務担当者説明会(会場 熊谷市)
- 3月9日(日) 第32回21世紀郷土かるた県大会(本庄総合公園体育館)
- 3月15日(土) 第2回かるた県大会実行委員会
- 3月29日(日) 正副会長会
- 3月29日(日) J.L・S.Lのつどい2014
- 【全子連関係】
- 2月13日(木) 全子連理事会・総会
- 2月14日(金) 全国子ども会育成中央会議・研究大会(宮城県)

今年度の「埼玉連表彰規程」に基づくジュニア・リーダーの表彰申請は次の7市町、96人です。(11月初旬現在)

- 狭山市 所沢市 皆野町
- 三郷市 上尾市 熊谷市
- 北本市

随時受け付けておりますので、J.Lの励みになるようご活用して下さい。

多くのJ.Lが活躍して、子ども会活動が楽しく活発になることを願っています。

## 編集後記

子ども達の世界も大きく変わり、携帯やスマホを持つのがあたりまえになりつつある。ネットでの犯罪に巻き込まれる子どもが急増している。依存症の自覚のない人も増えている。年に一度は、家族で話し合い、改めて利用方法を確認しあうと、とても便利な道具だと思ふ。